



ナッシュビル地域の大手各社

- A.O. Smith Water Products
- Asurion*
- Bonitron*
- Bridgestone Americas Holdings*
- Caterpillar Financial Services*
- Clarcor*
- Dell Computer
- Dollar General Corp.*
- DuPont Corp.
- Electrolux Home Products
- Gaylord Entertainment*
- Gibson Guitar*
- HCA Inc.*
- Ingram Industries*
- LifeWay Christian Resources*
- Louisiana Pacific*
- Nissan North America*
- Primus Automotive Financial Services*
- Quebecor*
- Rogers Group*
- Saturn Corp.
- Thomas Nelson Inc.*
- Toshiba America Consumer Products
- Tractor Supply Co.*
- Verizon Wireless
- Whirlpool Corp.
- Willis

* ナッシュビルに本部を置く企業

ナッシュビル地域は全米で最もダイナミックに事業が成長する中心地であり、そこには拡大し続けるグローバルなつながりとチャンスが存在します。ナッシュビルは、ヘルスケア管理、自動車部品と組立工場、音楽とエンターテインメント、出版業など、その他数多くの産業を抱えており、ナッシュビル企業の多様性は、国際貿易とすべての産業間の境界を越えて広がっています。同様の規模の都市で、これほど優れた環境設定と、国内外の取引および投資における可能性を秘めた所はありません。

■ **成長**は、絶えずナッシュビル地域の特徴となっています。2000年以来、150社以上の大手企業がナッシュビルに転入しています。ナッシュビルは、米国南東部で最大のメトロポリタンエリアです。

■ **当地の交通網**は、全米および全世界をナッシュビルと結びつけています。3つの主要な州間ハイウェイ、全米20州を結ぶ鉄道システム、そしてミシシッピ川につながる港があり、これらはナッシュビルならではの特長となっています。さらに、北米第37番目の規模を誇るナッシュビル国際空港には、乗客用および貨物サービス用に38社の航空会社が就航しており、全世界から当地へ容易にアクセスできます。

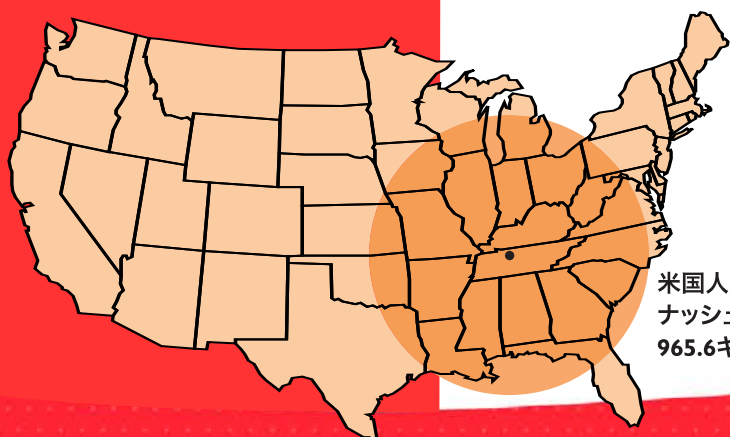
■ **貿易**の機会はずっと絶えず拡大しています。テネシー州は、近年において全米第1位の貿易伸び率を記録しています。事業を促進する政策、貿易に対する専門知識、および場所の優位性が、ナッシュビルをグローバル貿易のフロントランナーにしています。

■ **人材および天然資源**は、ナッシュビルの最高の資産として位置付けられており、ここには10万人の学生が在籍する短大・大学18校、世界4カ国の姉妹都市、豊かな農地、多様なミネラル資源、快適な気候があります。

テネシー州は、同州からの海外輸出増加率において全米ナンバーワンを記録しました。
(米国商務省、2005年)

ナッシュビルのランキング:

- 米国最高の居住場所として第1位にランキング
(キプリンガーのパーソナル・ファイナンス誌、2006年)
- 事業移転先および拡大先に関する全米人気都市ランキングで、幾度も第1位を獲得
(エクспанション・マネジメント誌、2005年、2006年、2007年)
- 全米で最も賢い都市の一つ
(CNNマネー、2006年8月)
- ビジネスとキャリアにとって最高の場所としてトップ10内にランキング
(フォーブス誌、2006年5月)



米国人口の50%が
ナッシュビルから
965.6キロ圏内に居住。

多様性あふれるナッシュビル

ナッシュビルの人口は、出身地、先祖、人種の多様性において引き続き拡大の一途を遂げており、国際的な生活・仕事の場として、その地域性がさらに強化されています。

- ナッシュビルに居住する海外生まれの人々は10万人以上。
- 市内では、100カ国語が話されている。
- ラテン、中東、南アジア、東南アジア系の数多くの人々が、ナッシュビルを生活の拠点としている。
- ナッシュビルには、中東以外では世界最大のクルド人社会が息づいている。
- ラオス、中央アフリカ、中国、インド、ボスニア、アラブ系社会が顕著で、数多くの文化施設、ショッピングエリア、レストランがある。

同様の規模の都市と比較して、ナッシュビルにはより多くの高等教育機関が存在しています。国際的な経歴を持つ5,000人近くの人々が18の機関に在籍し、バンダービルト大学は常に1,500人の留学生と学者を海外から受け入れています。これらの機関は、法律、ビジネス、医学から、その他の数多くの分野における各種準学士および資格認定に至るまで、あらゆるタイプのプログラムと学位を提供しています。

ナッシュビルおよびミドル・テネシーには多種多様な国際文化および社交団体があります。ナッシュビルは現在、5カ国の各都市と、ビジネス、文化、教育交流に関連した活発な姉妹都市関係を結んでおり、フランスのカン、ドイツのマグデブルク、北アイルランドのベルファスト、カナダのエドモントン、中国の太原と友好関係を育んでいます。

国際的に注目を集めているナッシュビル

ナッシュビル地域は、全米ならびに全世界からの観光客およびコンベンション参加者の人気スポットとして、ますます注目を集めています。毎年1千万人以上の観光客と50万人以上のコンベンション参加者が、ナッシュビルの景色と観光スポットを満喫しています。ナッシュビルへの訪問者の10%までが米国外からの来訪者であり、なかでもカナダ、イギリス、ドイツ、フランス、オーストラリア、日本が多数を占めています。

費用の比較

商業施設賃料の全世界比較	
1平方フィートあたりの年間賃料(米ドル) - Aクラスのオフィス用スペース	
1平方フィートあたりの賃料(米ドル)	
102.89	東京
79.88	ロンドン
44.90	ニューヨーク
36.52	シンガポール
33.93	上海
23.11	トロント
19.17	ロサンゼルス
18.19	ナッシュビル

出典: コリアーズ・インターナショナル、2006年

ナッシュビルの生活費に関する利点	
ニューヨーク	210.7
サンフランシスコ	169.2
ボストン	139.5
フィラデルフィア	125.7
デンバー	102.5
クリーブランド	100.6
アトランタ	98.2
ダラス	94.2
ナッシュビル	89.2

出典: ACCRA、2006年度第3四半期生活費指数

ミュージック・シティ

気候および周辺環境

平均気温	
年間平均	14.9° C
1月の最高気温	8.3° C
1月の最低気温	-2.0° C
6月の最高気温	30.2° C
6月の最低気温	18.4° C
年間平均降水量は	151.1 cm
平均相対湿度は	70%
中央標準時間帯	
海拔	167.6 m
ナッシュビル経済市場は	13,532 km ²

レクリエーション

- 100カ所以上の公園と遊び場、13カ所の公営プール
- 160面のテニスコート、42カ所のゴルフコース
- 釣り、ボート、水上スキーが楽しめる、計12,000ヘクタールの内陸の湖
- 水泳、テニス、アイススケートが楽しめるセンテニアル・スポーツプレックス
- テネシー・パフォーミング・アーツ・センター
- シャーマーホーン・シンフォニー・センター
- ナッシュビル・スーパー・スピードウェイ
- ナッシュビル・バレエ、オペラ、テネシー・レパートリー・シアター
- グラン・オール・オブリー
- カントリー・ミュージック・ホール・オブ・フェーム
- テネシー州立博物館
- アドベンチャー・サイエンス・センター
- ナッシュビル動物園(グラスミア)
- チークウッド: ナッシュビルの芸術と庭園の中心地
- NFLタイタンズ(プロフットボールチーム)
- NHLプレデターズ(プロアイスホッケーチーム)
- フリスト視覚芸術センター

多様で常に変化のある経済

ナッシュビル地域の経済は多様であり、国内経済を反映しています。この地域は、低失業率、一貫した雇用の増大、安定した国内・海外投資、高度な技能を携えた労働力の恩恵を享受しています。また、製造業とサービス業の均衡が取れている点も、ナッシュビルが北米で最も魅力的な成長拠点となった理由であると言えます。

詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

Nashville Area Chamber of Commerce

(ナッシュビル地域商工会議所)

Chief Economic Development and Marketing Officer

(最高経済開発・マーケティング責任者)

Janet Miller (ジャネット・ミラー)

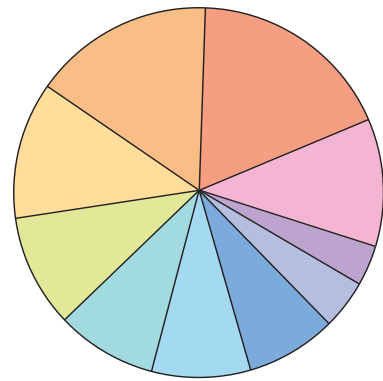
211 Commerce Street, Suite 100 • Nashville, TN 37201

jmiller@nashvillechamber.com

電話 (615) 743-3024 • ファクス (615) 256-0393

www.nashvilleareainfo.com

経済的多様性



37,716業種
ナッシュビル経済市場(2004年)

経営、情報、管理、専門、技術サービス	18.1%
小売業	16.0%
金融、保険、不動産	12.0%
ヘルスケア、社会福祉	9.8%
運送業、倉庫業、卸売業	8.7%
建設業	8.5%
宿泊、食品サービス	7.8%
製造業	4.2%
教育、芸術、娯楽、レクリエーション	3.7%
諸サービス業およびその他	11.2%

出典:米国商務省

ナッシュビル経済市場における就労者への給与支払い額は、テネシー州全体の給与支払い額の30%以上を占めています。

ナッシュビルからの輸出先および金額

カナダ	\$6,925,453,887
メキシコ	\$2,267,318,507
中国	\$1,883,452,961
日本	\$871,988,671
イギリス	\$866,063,532
ドイツ	\$773,428,144
オランダ	\$711,319,356
オーストラリア	\$456,169,238
韓国	\$439,775,753
シンガポール	\$406,701,592

出典:米国商務省、2006年

ナッシュビルからの主な輸出品

輸出品/合計金額	金額
輸送機械	\$4,825,022,993
コンピュータおよび電子製品	\$3,330,176,005
化学品	\$2,919,812,652
その他製品	\$2,070,163,096
機械類	\$1,683,042,539
作物生産	\$1,541,715,676
一次金属製品	\$928,534,018
プラスチックおよびゴム製品	\$630,831,912

出典:米国商務省、2006年

ナッシュビル地域における海外投資の沿革

1970年代

- 東芝アメリカ家電 (日本)
- Tridon (カナダ)

1980年代

- アルコア・フジカワ (日本)
- 日産自動車製造 (日本)
- ソニー・ミュージック (日本)

Square D (フランス)

Teksid Aluminum (イタリア)

1990年代

- ブリヂストン・ファイアストーン 米国本部 (日本)
- Davidson Manufacturing (メキシコ)
- Quebecor (カナダ)
- Willis、米国本部 (イギリス)
- Wilson Sporting Goods (フィンランド)

2000年代

- Akzo Nobel (オランダ)
- Cinram (カナダ)
- ClientLogic (カナダ)
- Electrolux Home Products (スウェーデン)
- Embraer (ブラジル)
- 日産ノースアメリカ、北米本部 (日本)
- 積水化成工業 (日本)
- ThyssenKrupp (ドイツ)

ナッシュビルは北米交通のハブ

■ 川および鉄道：

- テネシー、オハイオ、ミシシッピ川につながるカンバーランド川は、ナッシュビルの交通と流通網において重要な役割を果たしています。米国陸軍工兵隊によって整備された2.4メートルの川底を持つナッシュビル港では、30隻以上の商用荷船作業が行われています。
- ナッシュビルの鉄道車両基地は南東部の主要ハブであり、シカゴ、ニューヨーク、セントルイス、アトランタを結ぶ主要な分岐点となっています。その他にも、ナッシュビルの近距離鉄道会社であるナッシュビル東鉄道とナッシュビル西鉄道があります。
- クラス1鉄道会社であるCSXトランスポーテーションは、全米23州、コロンビア特別区、カナダ2州を結ぶ4,345.2キロに及ぶルートでサービスを提供し、ナッシュビルと数多くの国内市場を結びつけています。ナッシュビルを経由して運営されるシステムには、さらに以下の特長があります。
 - 米国内50カ所の大都市市場のうち、27カ所にCSXサービスを提供。
 - 45の海、湖、河岸の港へ直接アクセス。
- ナッシュビルのハンプ操車場は南東部最大のものの一つであり、1日1,800台の鉄道車両を分類。
- ナッシュビルでは、1日平均で90編成の列車が運行され、車両の総使用数は7,200両にも上る。

■ 主要航空会社：

エア・カナダ、アメリカン航空、アメリカン・コネクション、アメリカン・イーグル、コンチネンタル・エクスプレス、デルタ航空、デルタ・コネクション、フロンティア、ジェットブルー、ミッドウエスト・

コネクト/スカイウェイ、ノースウエスト航空、ノースウエスト・エアリンク、サウスウエスト航空、ユナイテッド・エクスプレス、US航空、USエアウェイズ・エクスプレス

■ 航空サービス：

ナッシュビル国際空港は、北米および海外市場に対して卓越したサービスを提供しています。航空の中心地としてのナッシュビルの主な特徴は以下の通りです。

- 98市場への直行便またはノンストップ便
- 80市場への同一便サービス
- 2006年の1日あたりの平均発着便数は400便
- 2006年の利用者数は970万人
- ターミナル面積は76,180.5平方メートル
- 61の航空機ゲート
- 46のジェットブリッジ扉
- 計183機の駐機容量
- 北米で最も忙しい空港トップ50にランキング
- 搭乗客の利便性で全米トップ5にランキング
- ダウンタウンから12.9キロの容易なアクセス

■ 道路システム：

ナッシュビルは、米国の3つの州間ハイウェイI-40、I-65、I-24が交差する貴重な6州のうち1州です。ナッシュビルから965.6キロ圏内に、全米人口の半数である1億5千万人が居住しています。

この地域にはさらに、10,360平方キロを越える2本の主要なループ・ハイウェイが存在します。ナッシュビル・エリアではまた、140の運送業者および150のトラック・ターミナルがあり、幅広いサービスと競争力のある料金が提供されています。

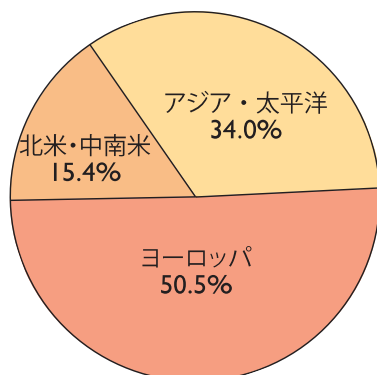
ナッシュビルおよび他都市間の鉄道距離

目的地	キロ
アトランタ	455
シカゴ	706
クリーブランド	859
ダラス	1,149
デトロイト	870
カンザスシティ	947
ロサンゼルス	4,248
ニューオーリンズ	899
ピッツバーグ	955

ナッシュビルからの運転時間

目的地	所要時間 (時間)	キロ
シカゴ	8.5	888
ニューヨーク	14.0	1,474
ワシントン	13.3	1,393
ロサンゼルス	30.8	3,225
ヒューストン	12.0	1,252
メンフィス	3.2	337
ニューオーリンズ	8.8	920
マイアミ	13.6	1,427

ナッシュビル地域の 外資系企業



上位国	企業数
日本	56
イギリス	37
カナダ	24
ドイツ	15
フランス	8

出典：テネシー州経済地域開発局、2006年

海外貿易地域

米国商務省によって指定された海外貿易地域 (FTZ) とは、米国関税自治区外であるとみなされる地域のことです。

■ FTZの利点：

- 企業による米国税関での関税支払いの遅延、減少、または免除を支援します。
- FTZ内の商品が米国外に輸出された場合、もしくは他方のFTZに転送された場合は関税が課せられず、課税金額を減らすために、FTZ内で商品を組立、連結、再梱包、またはそれ以外の取り扱いをすることが許可されています。
- FTZの付与は、企業が施設を外国貿易副地域として宣言することを許可し、自社の施設を活用しながらFTZの利点を享受することを可能にしています。事例としては、ナッシュビルに所在するNissan Motor Manufacturing Corporation、Saturn Corporation、Ozburn-Hesseyが含まれます。